

編集後記

○ 『岡山大学国語研究』第三十八号をお届け致します。本号は、研究科・学部教員、附属中学校教員による三篇の研究論文を掲載しております。大学は次第にコロナ禍の前のような活気を呈してきました。そうした雰囲気の中で今号も刊行することができたことを喜ぶとともに、会員の皆様のご助力に感謝致します。

○ 二〇二四年は能登半島地震・日航機と海上保安庁機との衝突事故など、ショッキングな幕開けとなりました。犠牲者のご冥福を祈ると同時に、本当にどんなことでも起こり得るものだ、という思いをあらたにしました。教育や研究に打ち込むことができる、という幸福も、実は平和で安定した「日常」があつてはじめて享受できるものなのかもしれません。それがいかに貴重なことであるか、ということを再認識した次第です。

○ 会員の皆様におかれましては、貴重な「日常」の中で考えたり感じたりしている様々なことを発信する媒体として、本誌を積極的に利用して頂ければと思います。研究論文や実践報告、「私の国語教室」のご投稿を引き続きお待ちしております。

(S・T)

二〇二四年三月二十日 印刷
二〇二四年三月二十日 発行

岡山大学 国語研究 第三十八号

編集兼 岡山大学教育学部
発行者 国語研究会

〒七〇〇八五三〇

岡山市北区津島中三丁目一番一号

URL: <https://edu.okayama-u.ac.jp/~kokugo/>

振替口座番号(〇二二一〇一五一三五六二二)

印刷所 サンコー印刷株式会社

〒七一九一一三七

岡山県総社市駅南一丁目一番地五